科目名	日本語理解D（文章表現）　Japanese D: Sentence Expression						
科目担当者	堀下　翔　HORISHITA Kakeru						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)
授業の概要	文章において、書きたいことは頭の中に浮んでいるのに、説明しようとしたら言葉が出て来なかったり、なぜか伝わらなかったりするものです。こうした悩みはしばしば「語彙力」の問題だといわれますが、実際のところ、言葉をたくさん知っていれば解決するわけでもありません。この科目では、「思ったことを思った通りに書く」ために必要なテクニックを身につけます。それは同時に、第三者にとって読みやすい文章を書くテクニックともいえます。そしてこの授業では「文章」以外にも、日本語で表現されるさまざまなジャンルの文章を実際に書くという経験もしていただきます。						
授業の到達目標	①　論理構造に破綻がなく、かつ第三者に読みやすい文章を書ける。 ②　大学生あるいは社会人として必要とされる技能としての日本語運用能力を身につける。 ③　日本語表現を通じて、自身の思いを見つめ、客観視できる。						

授業計画・内容

1	ガイダンス―「思ったことを思った通りに書く」ことの困難
2	主語・述語
3	句読点
4	段落わけ
5	段落構成
6	語彙・誤った日本語
7	若者言葉
8	レポート執筆のスキルアップ―①参考文献の探し方
9	レポート執筆のスキルアップ―②レポートの紋切型を覚えよう
10	レポート執筆のスキルアップ―③推敲のテクニック
11	実用文―①メール
12	実用文―②ビジネス文書
13	さまざまな日本語表現―①自分史を書く
14	さまざまな日本語表現―②詩歌に触れる（1）
15	さまざまな日本語表現―③詩歌に触れる（2）

授業外学修 (事前学修)	・各回の内容を把握しておく（毎週 1 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	・返却された授業内課題を解きなおしたり推敲したりする（毎週 1 時間程度） ・日常的に文章を書く（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
・授業外課題	30%	①、②、③
・授業内課題	30%	①、③
・期末レポート	40%	①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	・特に指定しない。適宜プリント等を配布する。
参考文献	・荒川洋治『日記をつける』（岩波現代文庫、2010）※品切れ、中古
その他	「日本語理解」A～C を履修済であることが望ましいが、必須条件ではない。